

・本資料は効果効能を保證するものではありません。
・本資料の著作権はキティに帰属します。当社に事前の承諾無く、複製等の行為は固くお断りいたします。

キティにデザイン、キティイロ



研究特集【母から子へと受け継がれるクリスパタス菌】

クリスパタス菌 (*Lactobacillus crispatus*) は、哺乳類の消化管や口腔内に常在する乳酸菌の一種です。さらに、クリスパタス菌は健康な妊婦の膣内の優勢乳酸菌であり(図1)、これらは通常分娩の出産において新生児の消化管に移行し、速やかに腸内細菌叢を形成すると考えられています(Matsumiyaら、J Infect Chemother誌 8, 43-49, 2002)。

一方、帝王切開で誕生した子供は、通常分娩で誕生した場合と比較して、感染症やアレルギーの発症リスクが高まることが知られています(図2)。これは、帝王切開分娩では膣内優勢細菌であるクリスパタス菌の母子間伝播が成立しないことに起因すると考えられます。つまり、母から子へと受け継がれるクリスパタス菌は、子供の感染症やアレルギー発症リスクを低減すると考えられます。

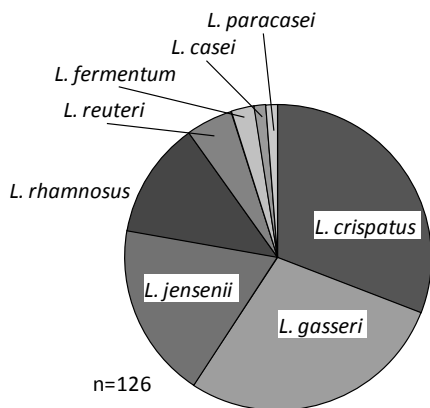


図1. 健康な妊婦の膣内の乳酸菌割合
Kissら、BJOG誌、114,1402-1407 (2007)

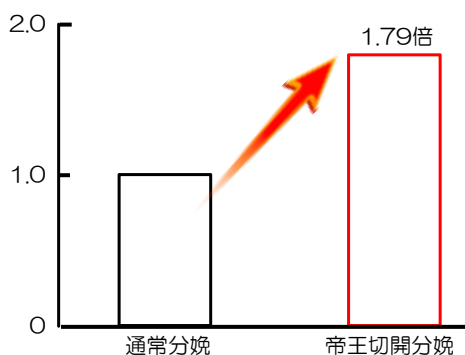


図2. 8歳の子供の喘息罹患率
Roduitら、Thorax誌、64, 107-113 (2009)

母から子へと受け継がれるクリスパタス菌を補う

近年、花粉症や卵アレルギーを発症する人が増えています。これらアレルギーの発症原因として、栄養バランスの偏った食事や抗生物質の多用による腸内のクリスパタス菌の減少が考えられます。



腸内から居なくなってしまったクリスパタス菌は、自分で増えることができません。クリスパタス菌を含むサプリメントを摂取することで、腸内で減ってしまったクリスパタス菌を補ってあげることが健康を維持する上で重要だと考えられます。



信州大学名誉教授
農学博士 大谷 元 先生

専門は、食品科学。これまで機能性食品、乳・乳製品などの研究に従事。2008年に日本農学賞、読売農学賞を受賞。2010年には紫綬褒章受章。現在は、母乳評論家としても活躍中。ホンマでっかTV(フジTV系)、変ラボ(日本TV系)に出演。

【本件に関する御問い合わせ】

株式会社キティ バイオ事業部 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5
TEL:03-6457-7990 FAX:03-6457-7992

キティにデザイン、キティイロ

